



2013(平成25)年7月5日、福太郎株式会社小清水北陽工場がオープン。同時に北海道発の新商品「ほがじゃ」と同名のPRキャラクターが誕生し、まちは大きく活気づいた。この勢いのついでに同年10月3日、役場は架空の部署「じゃがいもでんぷん課」を新設。でんぷんだんごのキャラクター「でん坊」と「ほがじゃ」が特命職員に任命された。

じゃがいもでんぷん課

Current Situation - My Life Town Koshimizu

In 2013, an imaginary department referred to as the Potato Starch Department was established to promote the town, and mascot characters named Denbo and Hogaja were appointed as extraordinary officials. In 2015, Koshimizu Town and the town assembly made a cooperation agreement with Hokkaido University's Public Policy School to deal with population decline.



2015(平成27)年、北海道大学公共政策大学院と人口減少対策等について協力する包括連携協定を締結した。地域医療の存続維持や町議会のあり方について調査研究するほか、農協と協力して大学院生の就業体験の場を提供する。

北大と連携協定

マイライフタウン小清水

大自然の中で、
小清水版ライフスタイルを
創造するまち

議会



小清水町議会

行政



小清水町役場

まちの概要

人口(平成27年12月現在) 男2,442人 女2,712人 世帯数2,150戸
総数5,154人



位置と面積

北海道の東北部、オホーツク海に面したオホーツク総合振興局管内斜里郡にあり、郡内の西部に位置しています。周囲は北が全面オホーツク海に面し、東は斜里町、清里町と、西は網走市、大空町と、南は釧路総合振興局管内弟子屈町と接しており、総面積は286.89平方kmです。

地形

南界を走る北見山地が形成する南部山岳地帯から、緩やかに北に向かって低下し、オホーツク海岸に達する傾斜地帯が続きます。国有林におおわれた南部山岳地帯から中部地帯にかけては幾多もの丘陵が南北に走っています。

気象

ほぼ南北に長い長方形の形状を示し、オホーツク海の影響を受ける「オホーツク海区型気候」と内陸性気候に近い「亜寒帯多雨気候区」の2つの様相が連結混交する気候環境にあります。年間を通じて、降水量は少なく、日照率の高さは全国でも有数です。冬は雪が少なく、海には2月から3月にかけて流氷がやってきます。



副議長
下平 正吾



議長
坂田 秀昭



教育委員会 教育長
渡辺 等



副町長
森田 明



町長
林 直樹

町技



ソフトボール
老若男女こそってスポーツに親しむ町づくりの方向を打ち出そうと、大衆スポーツとして「ソフトボール」が選定されました。

町の鳥



オオハクチョウ
濁沸湖に飛来する代表的な水鳥。素晴らしい自然環境に恵まれた我が町のイメージにふさわしい鳥であることから、ふるさと小清水120年・開町80年を記念して選定されました。

町の木



ミズナラ
大地にどっしりと根をおろした、強い生命力は21世紀を力強く羽ばたこうとする小清水町のシンボルとするふさわしいとの理由により選定されました。

町の花



エソスカシユリ
オホーツク海が明るさをまし、初夏の陽光がふりそそぐ原生花園砂丘に群がり咲く美しさで、本町を象徴する名勝の花として、広く町民に愛されていることから選定されました。

町章



本町の町章は、町制施行を記念して昭和28年10月7日に制定されました。『清』は水を表し、『水』は水を表し、この3文字を合わせて小清水の意味を表現。町民一丸となった理想郷「小清水」を象徴しています。